

第1回いじめ等調査のお願い

R3. 6. 16

いじめ不登校対策委員会

1. ねらい 年2回（6月と11月）いじめ等の調査を全校で行うことで児童の実態をとらえ、指導に生かし、楽しい学校生活が送れるようにしていく。
（ふだん見えにくい人間関係や児童の悩みを知ること、いじめ等の早期発見、早期対応ができるようにする。）
2. 調査期間 6月21日（月）～6月25日（金）
3. 調査方法 別紙アンケートによる。担任の先生に、集計用紙にまとめていただく。
（1年生は、「はい」と答えた児童から別に話を聞いていただく方法でもよい。）
4. 締切 6月29日（火） 集計用紙にクラスごとまとめ、 お願いします。
7月の職員会に向けて、学校の全体のものを係でまとめます。
5. 調査後について
 - 各学級で個別に聞き取りをしたり、児童の様子を観察したりして、さらにくわしい実態をつかみ、学級や学年で対応する。関係の学年とも連携する。
必要に応じて委員会を開き、対応を検討する。
 - 「相談の日」の時間を利用し、児童全員と話ができるようにする。
 - 8月か9月の職員会で、特に心配な件については、担任から報告していただく。

〔相談の日について〕

ねらい	・児童一人一人と話をし、日頃困っていることなどを聞き取ったり、日頃のがんばりや良さを認め励ましたりする機会とする。 ・今後の指導に生かす。
-----	--

- 日時 6月30日（金）～7月9日（金）の間で各学級2時間
学裁の時間として、低学年5校時 高学年6校時を位置づける。
都合が悪い場合は、学年で日や時間をずらしてもよい。
- 場所 教室または特別教室
特別教室を利用する場合は、各自で交渉して決めてください。

第1回 いじめアンケートまとめ

R3. 7. 7

1. いじめられたことがありますか。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
39	21	20	14	10	3	107

どんないじめを受けましたか。

1年	・押された ・よく覚えていない	・悪口を言われた	・たたかれた	・イヤな呼び方をされた
2年	・物をとられた	・からかい	・イヤな言い方で名前を呼ばれた	
3年	・仲間外し ・変なあだ名をつけられた	・悪口	・つねられた	・ムシをされた
4年	・陰口	・無視された	・暴力	・プライベートゾーンを触られる
5年	・からかい	・ものかくし	・暴力	・悪口 ・陰口 ・無視
6年	・暴力	・悪口	・陰口	

2. だれかをいじめたことはありますか。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
16	4	10	2	5	2	39

どんなことをしましたか。

1年	・押した	・悪口を言った	・たたいた	・忘れた
2年	・たたいた	・キックした		
3年	・たたいた	・暴力	・悪口	・無視
4年	・パンチ	・殴るマネ		
5年	・陰口	・悪口	・仲間外し	
6年	・とびげり			

3. いじめを見たことがありますか。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
34	17	15	3	2	31	102

どんないじめを見ましたか

1年	・悪口	・何を言っていたかはよくわからない	・忘れた
2年	・遊具をゆずっていなかった	・よく覚えていない	・パンチ ・キック ・石を投げていた
3年	・陰口	・悪口	・物をとられていた ・暴力 ・お茶をかけられていた
4年	・石を投げていた	・仲間外しをしていた	
5年	・悪口	・暴力	
6年	・悪口		

その時どうしましたか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
注意した	14	5	4	0	2	0
先生に知らせた	15	6	2	0	1	0
何もしなかった	10	5	2	1	0	1

4. その他、先生に相談したいこと

1年	なし
2年	・休み時間に遊びに誘っても遊んでくれないこと
3年	・教室に先生がいなくなるとうるさくなる ・〇〇さんのせいで△△さんと顔を合わせにくい ・友だちのランドセルにキーホルダーが多くついていてランドセルを入れにくい ・手に毛が生えていることを友だちに言われたくない ・変なあだ名を言われたり、仲間外しをされるのがイヤ
4年	・友だちのことで困っている
5年	・クラスの1人の子の態度が怖い ・いじめを見たら先生に言えば良いか
6年	なし

〔集計結果まとめより〕

- ・いじめを受けた事例では、全学年で悪口・暴力による被害が共通している。
- ・いじめをしてしまった事例では、暴力による加害が多く見られる。
- ・被害数と加害数の差があることから、自分のしたことが“いじめ”と認識できていない児童が多くいると感じられる。相手はいじめと感じていることがあることに気づき、自分の姿を振り返る機会を作る必要がある。

集計ありがとうございました。今後は学年の実態に応じてアンケート結果を伝え、どうしていったらよいか、子どもたちと話し合ってみてください。

第1回いじめ等調査のお願い

R 4 . 6 . 1 5

いじめ不登校対策委員会

1. ねらい 年2回（6月と11月）いじめ等の調査を全校で行うことで児童の実態をとらえ、指導に生かし、楽しい学校生活が送れるようにしていく。
（ふだん見えにくい人間関係や児童の悩みを知ることで、いじめ等の早期発見、早期対応ができるようにする。）
2. 調査期間 6月20日（月）～6月24日（金）
3. 調査方法 別紙アンケートによる。担任の先生に、集計用紙にまとめていただく。
（1年生は、「はい」と答えた児童から別に話を聞いていただく方法でもよい。）
4. 締切 6月28日（火）集計用紙にクラスごとまとめ、 お願いします。
7月の職員会に向けて、学校の全体のことを係でまとめます。
5. 調査後について
 - 各学級で個別に聞き取りをしたり、児童の様子を観察したりして、さらにくわしい実態をつかみ、学級や学年で対応する。関係の学年とも連携する。
必要に応じて委員会を開き、対応を検討する。
 - 「相談の日」の時間を利用し、児童全員と話ができるようにする。
 - 8月か9月の職員会で、特に心配な件については、担任から報告していただく。

〔相談の日について〕

ねらい ・児童一人一人と話をし、日頃困っていることなどを聞き取ったり、日頃の
がんばりや良さを認め励ましたりする機会とする。
・今後の指導に生かす。

- 日 時 7月1日（金）～7月8日（金）の間で各学級2時間
学裁の時間として、低学年5校時 高学年6校時を位置づける。
都合が悪い場合は、学年で日や時間をずらしてもよい。
- 場 所 教室または特別教室
特別教室を利用する場合は、各自で交渉して決めてください。

第1回 いじめアンケートまとめ

R4. 7. 6

1. いじめられたことがありますか。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
31	10	15	14	6	6	82

どんないじめを受けましたか。

1年	・押された ・悪口を言われた ・たたかれた ・けられた ・無視された ・イヤなことをされた
2年	・仲間外し ・イヤなことを言われた ・バカにされた ・悪口 ・暴力
3年	・物をとられた(隠された) ・イヤなことをされた ・仲間外し ・悪口 ・暴力(つねられる・たたかれる) ・いじわる ・ムシをされた ・変なあだ名をつけられた ・問題を間違えたときからかわれた
4年	・悪口 ・仲間外し ・無視された ・暴力
5年	・ちょっかい ・悪口 ・陰口 ・無視 ・いじわる ・暴力
6年	・仲間外し ・無視 ・暴力 ・悪口 ・陰口

2. だれかをいじめたことはありますか。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
8	5	2	5	1	2	23

どんなことをしましたか。

1年	・たたいた ・無視をした
2年	・暴力 ・悪口
3年	・仲間外し ・悪口
4年	・からかった ・暴力 ・いじわる
5年	・いじわる
6年	・悪口 ・いじわる

3. いじめを見たことがありますか。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
22	2	6	7	1	3	41

どんないじめを見ましたか

1年	・暴力 ・悪口
2年	・からかい
3年	・悪口 ・いじわる ・暴力
4年	・暴力 ・悪口 ・いじわる
5年	・暴言
6年	・ズボンを下ろされていた ・悪口 ・暴力

その時どうしましたか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
注意した	2	0	2	6	0	1
先生に知らせた	5	0	1	0	0	0
何もなかった	2	2	3	1	1	1

4. その他、先生に相談したいこと

1年	・呼び捨てにされるのがイヤ ・いじめられたとき、どうすれば良いですか
2年	・注意を聞いてくれない ・クラスがうるさい
3年	・自分のことを噂されているのを聞いてしまった
4年	・友だちに絵をマネされた ・にらまれる ・自分は気にならなくてもいじめられたら先生に言った方が良いか
5年	・じろじろ見てくる ・好きなアニメを否定された ・友だちにこちょこちょされてイヤ ・他学年から死ねなどの暴言
6年	・特定の子にイヤなことをされる ・友だちとうまくいかない

〔集計結果まとめより〕

- ・いじめを受けた事例では、全学年で悪口・暴力による被害が共通している。
- ・いじめをしてしまった事例では、低学年では暴力、高学年ではからかい等のいじわるによる加害が多く見られる。
- ・被害数と加害数の差があることから、自分のしたことが“いじめ”と認識できていない児童が多くいると感じられる。相手はいじめと感じていることがあることに気づき、自分の姿を振り返る機会を作る必要がある。
- ・被害数と発見数の差があることから、傍観者となっている児童が多くいると感じられる。いじめをなくすには傍観者がどのような役割へと変われば良いのか、自己を振り返ったり、話し合ったりする機会を作る必要がある。

集計ありがとうございました。「年度当初・生徒指導の確認事項」内には、下記のことが書かれています。

- ・友だちは「さん」をつける。あだ名で呼んだり呼び捨てしたりしない。
- ・「いいね」、「ありがとう」など、友だちが聞いてうれしい、気持ちがいい言葉で話すようにしていく。
- ・校舎内で走ったり暴れたりしてはいけない。

まずは落ち着いた学級づくり、安心できる環境づくりが必要ではないでしょうか。今後は学年の実態に応じてアンケート結果を伝え、どうしていったらよいか、子どもたちと話し合ってみてください。